

2011年度 ジャパンシュツフントクラブ 総会議事録

日時 : 6月29日(水) 午後6時~午後7時

場所 : 霧ヶ峰ヒュッテ

出席者 : 17名 委任状出席者 17名 計34名

開会 - LG 関西 山口氏より益田氏を議長として推薦、全員一致で承認。会員総数47名うち、出席者17名、委任状出席者17名、計34名の出席者が認められ、本会議で承認された議決案は有効であることが宣言され2011年度の総会が開会した。

第1号議案 : 2010年度会計報告 -

会計の岩井氏より収支報告書が配られ、全員一致で承認可決。

第2号議案 : 2011年 予算案

世の不況は我々の犬界においても例外ではなく、各協会の会員、犬の登録頭数、そして我々の各LGの会員数も減少しています。2002年から昨年まで継続されていた、D1開催、運営費用として各LGからの徴収制度を廃止し、各LG毎に各々の収支で地域活性型の活動運営を行ってはと益田氏からの提案。

また会計岩井氏より、現在の余剰金を各LG(関西、関東、九州)に20万円ずつ分配し、残りは事務局費として残してはとの提案に満場一致で承認可決。

益田氏より、岩井事務局長の総会出席のための交通費を事務局費から支払う。との提案に対して、満場一致で承認可決。

第3号議案 : 2010年 事業報告

LG 関東会長の新井氏、LG 関西会長の山藤氏から、昨年それぞれのLGで行った事業内容の報告がされた。

第4号議案 : 2011年 事業計画

4-1.(義務研修)

益田氏より、昨年まで行われていた義務研修を継続して行うのか、それとも各LGでテーマを決め、その内容に応じた講師を招いてのセミナーを行うのか?

LG 関東会員の加藤氏より、昨年のリフレッシュセミナーの希望がされ、益田氏から実技形式で行ってはどうかと提案。時期的なもの、スケジュール、場所等については各LGが決定し、ホームページに掲載するということで承認された。

4-2. (競技会)

現在、目標とするべき競技会(試験)が年間で少なすぎる。IPO2を合格した犬が、次に出る競技会がいきなり選考会であるというのは問題である。今後はなるべく競技会(試験)開催にも積極的に取り組み、WUSV 賛助会員が運営した IPO 試験を PD で認めて貰うように働きかける。(* PD は認めています)

4-3. (訓練試験(訓練資格)総称が IPO に統一される事について)

4-2 に続き、LG 関西の山口氏より、SV 審査員が IPO 試験を行い PD がそれを認めた場合、その犬はその試験資格(IPO2)で FCI の選考会に出場出来るのか?

例)ボクサーが SV 審査員で IPO2 を受験し PD に登録した場合、その犬は JKC の IPO3 を受験する事が出来るのか?

ベルギーで SV 審査員(益田氏)が IPO2 試験を行い、その試験資格を持った犬を日本人が買ったとして、IPO3 の受験または FCI の選考会に参加する事は可能である事から、理屈では通ると益田氏は回答。

第 5 号議案 : その他

5-1. (LG 九州の復帰)

2010 年 12 月、突然、LG 九州の田辺氏が益田氏に、LG 九州はジャパンシュツフントクラブを脱会すると書面で通達してきた。以降、現在まで脱会扱い。

しかしながら、LG 九州会長の石原氏は、田辺氏とは関係なく新生 LG 九州を立ち上げるので、復帰という形で、LG 九州を認めていただきたいとの要望に対して、全員一致で LG 九州の復帰を承認。自ら脱退した田辺氏の今後の対応については LG 九州に一任するとした。ただし、田辺氏から LG 九州及び各 LG に再入会の申し入れがあった際は、ジャパンシュツフントクラブの内規としてこれを拒否するものとする。

5-2. (公認ヘルパー日当について)

岩井氏より公認ヘルパーの日当の再確認をしたいとの申し入れがあった。

現時点ではジャパンシュツフントクラブ公認ヘルパーの日当は頭数に関わらず 1 日 3 万円(交通費・宿泊費・食事代を除く)とされているが、新料金を設定を公認ヘルパーが協議して取り決め、ジャパンシュツフントクラブ以外での競技会でもそれと同等の日当を支払って貰うように働きかける。

閉会 - LG 関東会長の新井氏より、閉会の言葉が告げられ終了。